

# アイマスク体験(11月18日(金) 実施)アンケートより

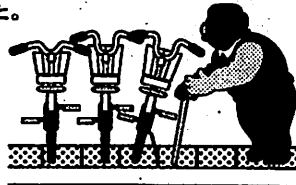
## 1. ビデオをみて、新しく知ったことや気づいたことは何ですか。

- ・目が不自由な人は、普段の生活のことにも不安な気持ちになり、買い物に行くのにも大変な苦労があることがわかった。
- ・今までにも、点字ブロックの上に自転車を置いているのを見たことがあるが、点字ブロックの形の意味(進め、止まれ)を知って、これからはもっと気をつけて町を歩き、危ないと感じたら声をかけていこうと思った。
- ・本一冊を訳すだけで100冊も必要なのはびっくりした。
- ・自分たちが普段の生活の中でどれだけ視覚に頼っているのかわかった。
- ・前から点字のしくみを知りたいと思っていたので、知れてよかった。点字を使ってあんなにも早くすらすらと字が読めるなんてすごいと思った。私も勇気をもって声をかけようと思った。
- ・点字のタイプライターでノートをとっていることに驚いた。つえの使い方や点字を頑張って覚えていてすごいなと思った。私だったらなかなか覚えられないと思う。
- ・自分たちが毎日見ているところも目の不自由な人には見えないし、外に出て買い物をするのも大変ということを知った。点字ブロックの上に物をおかないように心掛ける。



## 2. 体験を終えて、困ったこと・新しく気付いたことは?

- ・階段に登る前には、どこから段差があるのか、どのくらいの高さなのか、どのタイミングで足をあげるのかわからず、階段が終わるときも同じように不安を感じた。また、まっすぐな道でも、何かにぶつかりそうな気がして怖かった。
- ・ちょっとしたでっぱりや段差がすごく怖かったので、道に物を置いてはいけないということが分かった。
- ・急に大きな声が聞こえた時、何が起こったのか分からず怖かった。普段から何が起きているかが見えない人は、もっと怖いんだと思った。
- ・補助してくれた友人の声のお陰で怖かった気持ちが楽になり、段差のある場所でも安心して進めた。
- ・前が見えないと階段を上ったり、下りたりするときにすごく怖かった。普段は短いように感じる道も少し長く感じた。
- ・目が見えていない状態で階段を上ったり下りたりするのが怖かったけど、声をかけてもらえるだけで、安心して上り下りできた。



## 3. 学校から自分の家までアイマスクで帰るとしたら、どのようなことで困ったり、どのような危険な目にあったりするでしょうか?

- ・店の前では、出入りする人にぶつかったり、自転車が出入りする場所では、自転車に乗って出てくる人がいてあぶない。
- ・信号の色が見えないと、いつ赤か青かわからずとても困るし、道に少しでもこぼこしたところがあると、ころんだりして危険だと思う。
- ・信号では歩行者用の信号が青になっても、車がたくさん通るからとても困ると思う。人に声をかけるのも勇気がいるし毎回となると苦労する。
- ・家まで帰るルートを見つけるのはとても大変だし、車が通る道を一人では帰れないと思った。
- ・信号があるところで赤なのに渡ったり、高架下の大きな道路を渡ったりするのが危険だと思った。電柱や歩いている人、自転車に乗っている人とぶつかりすると危ないと思った。いきなり車が出てきたりしても危ないと思った。
- ・中学校までの間に点字ブロックがないところが多いので、色んなものにぶつかりそう。時間が普通の倍以上かかりそう。

## 4. 体に不自由な部分がある人に街で出会ったら、あなたはどんなことができますか?

- ・今まで目が不自由な人を見かけても何もなかったが、アイマスク体験で見えないことがとても怖かったから、これからは相手の気持ちを考えて助けになりたい。
- ・目が不自由な人の身になって、その場の状況を細かく伝えることが大切だと思った。
- ・点字ブロックの上に物を置いたり、自転車を止めないようにする。目が不自由な人を見かけたら道をあける。
- ・目が不自由な人を見かけたら、優しく声を掛けて安心させ、段差では一緒に数をかぞえながら登ったり、大きな交差点では、余裕をもって進めるように気をつける。
- ・「大丈夫ですか」とまず声を掛けて、自分ができることがあれば、積極的にやろうと思う。
- ・車椅子の人には道を譲るなど、自分にできることからしていきたい。
- ・信号のあるところで目が不自由な人を見かけたら、呼びかけて一緒に渡る。体の不自由な人がいたら声をかけてこまっているか聞く。

